

風通しの良い職場作り

もうすぐ2学期がスタートします。2学期は、学部や学年など組織や立場を超えた教職員が一丸となって準備を進めていく学校行事等の教育活動が豊かに実施されます。

前号(vol.7「カリマネの新スタイル」)でも“大規模校あるある”について紹介しましたが、それ以外にも、他の学部等の方々と話す機会が少ない、というあるあるが多いのも事実です。

そこで、2学期がスタートする前の、このタイミングで「風通しの良い職場作り」を目的に、教職員一人一人が同僚を認め合い、円滑な人間関係を構築するためにコミュ力を磨く研修を実施しました。

小、中、高、寄宿舍、事務室、管理職、対馬分教室の教職員 136 名(出張等で不在者を除く)が食堂に集い(対馬分教室はオンライン参加)、所属や役職ができるだけ分散するようにくじ引きで23グループ(約6名/1グループ)に分かれて、次の体験を行いました。

- ◇ 4月から今日までに「(自分が)褒められたこと」をグループ内で、それぞれ発表し合いましょう。褒めてくれた人は、職場の人、家族、子どもなどは限定はなしです。【15分】
- ◇ グループの中で一つ、そのことを更に全体に伝えて、みんなで褒めたたいエピソードを決めましょう。【5分】
- ◇ グループ内で協力して、一つのエピソードを素敵に紹介する原稿(1分程度)を作りましょう。【15分】
- ◇ 順次、虹の名司会者が指名したグループから発表しましょう。【15分】

「安心して話せる」という雰囲気づくりとともに、チームビルディング活動を通して、職場での協力を促進するための重要なステップを踏むことができました。



『令和7年度 学校経営方針』で、今年度の重点取組事項の一つに、「⑤体罰や不適切な指導、事故や事件の根絶に向けた指導の徹底」を掲げ、よりよい職場に向けてのワークショップや横断的な対話の強化に取り組むことにしています。

「聞く力」、「創る力」、「繋がる力」を大切にして魅力ある虹の原の教育を展開する

- 「R7年度 学校経営方針」でめざす！ -